

会 報

平成20年9月16日

てんりゅう



熊切川に架かる月島橋と百日紅

夏には、各所で百日紅がきれいな花を咲かせ、
熊切川は鮎釣や水遊びをする子供たちで賑わいます。
(浜松市天竜区春野町地内)

会報てんりゅう 第92号

(社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山錠介 FAX (053)925-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

協会研修旅行を終えて

今場 嘉寿

「ことしの協会の旅行はどうしましょう？」

先月、秋山会長から変わられた長谷川新会長を会社に訪ね問いかけてみた。

このことは、新会長にとっても五月の決算総会に次ぐ、懸案事項の一つのようで、時間をおかずこうきり出した。

「なるべく、多くの人が参加できる行程と研修を織り込んだものを検討してください。」

厳しい今年度の予算の中から、かろうじて例年並の会員研修費を計上したことを理解している長谷川会長にとって、会員との交流の中で自らの方針を伝え、会員からの意見を聞くには、ゆつくりと時間のとれる研修旅行は又とない機会と考えていた。

早速、静鉄観光の内山氏に連絡をとった。彼は、袋井営業所の所長で私とは中学の三年後輩で、その誠実な人柄の彼にとっては、旅行社の仕事は天職だね…と話す仲でもあった。

二十二歳からずーっと勤めている旅行会社にあつて、家族旅行から中学・高校の修学旅行、会社・団体の旅行と、こちらの要望をすぐに汲み取り対応してくれることを承知していた。

彼に連絡をとった翌日には、「以前、他の地域の自治会長の研修旅行で能登半島沖地震の様子を視察したことがあります。先方に確認してみましようか。」と、こう話す彼が私の前に居た。

能登半島から二泊三日なら十分な行程であり、皆会社を背負っている人達ばかりであるし、緊急の場合は途中からでもその日のうちに帰ることもでき、二日目からの合流も可能である。その方向で企画するよう彼にお願いした。

旅行当日の六月二十日は天気も良く、一行を乗せたバスは予定通り、



輪島消防署門前分署での震災説明



鳳輪建設業協会にて

東名・名神・北陸自動車道を経て、更に能登海浜道路を進み、最初の視察先である輪島消防署門前分署に着いたのは、午後三時を少し廻ったころであつた。

駐車場にバスを着け、迎えてくれた門前分署の川岸広報係長から「遠いところを、お疲れ様でした。皆さんの立っている駐車場は地震の際には、全体が三十センチ沈下しました。」との説明があつた。

確かに、沈下していない分署の建物本体と周囲の排水溝には、段差を解消した跡が残されていた。

案内された分署の二階会議室には、スライドが用意され、資料と共に震災の説明を受けた。

平成十九年三月二十五日(日)午前

九時四十二分、能登半島沖地震は、ここ旧門前町を中心に多くの建物・道路に爪痕を残した。マグニチュード6・9。のちに起きる新潟中越沖地震のマグニチュード6・8のそれを上回る規模であつた。

この地震による輪島市の人的被害は、死者一名、負傷者一一五名、火災件数0件。

川岸広報係長はこのことを、「奇跡的な数字です。」と説明された。同分署では、この数字の要因を次のようにまとめている。

①地震発生時が日曜日であり、非住家の工場が休みであつたこと。(工場の倒壊が多数あつた。)

②当日の日曜日には祭りがあり、その時間帯には児童の鼓笛隊のパレードも予定されており、避難地となる門前支所前に多くの人が集まっていた、家屋の倒壊に巻き込まれなかった。

③暖かく、天気の良い春の朝、畑に多くの人が作業をしていて、家屋の倒壊の被害に巻き込まれなかった。

④午前九時四十二分の時間帯は、台所で火を使うケースが少なく、気温も高かったのでストーブ等の暖房器具の使用が少なかった。このことが、人的被害の少なさに繋がり、消防署から用意された、資

料の中にも「奇跡」の文字が記されていた。

また、参考資料には次のような事例も紹介されていた。

*地震の前兆現象

なまが騒いだり、ねずみがいなくなる様子は特になく、地震雲の現象も確認していない。

但し、地震発生の半年くらい前から、町内で衝撃波現象を確認していた。これは、震源域で岩盤破壊が起きていた現象と思われる。

*備蓄品について

道路の被災状況にもよるが、飲料水・食料品は1日分で十分。屋根の覆いにするブルーシート・土のう袋・ナイロンロープ・カ



ブラリ輪島の朝市

ッターナイフの備えが必要です。

丁寧な説明を受け、次の鳳輪建設業協会に向かったのは、午後四時であった。

玄関には協会正副会長と事務局長、我々は二階の会議室に案内され、そこで全員が名刺を交換し円卓に着席した。

最初に刀禰鳳輪建設業協会会長が、我々に遠路行程の労いを含めた挨拶をされ、次に坂本事務局長から、用意された資料に基づき協会の概要と「能登半島沖地震と当協会」の説明を受けた。

我々が、十日ほど前に送付していた質問事項にも、文書で回答が用意されていた。

被災に対しては、石川県奥能登土木総合事務所と（社）鳳輪建設業協会との「災害時における応急対策に関する細目協定」により、緊急出動が要請され、被害を受けた管内業者・会員は「不眠・不休」で三日間道路の確保の為に取り組んだ。

更に、調査・点検の依頼、参考見積りの提出、測量のための準備・清掃・片付け等、被災額の算定・確定の為に、会員会社には当局から多くの出動要請がなされ、その殆んどは費用対価を伴わない、準備段階のそれであった。

出勤人員は延べ百名近く、期間は四十日に及んだ。

公共土木施設被災総額二百三十一億円・農地等十八億円が「平成十九年能登半島沖地震」による被災額であった。

当局と建設業界の信頼関係なくして、こうした速やかで、誠意ある対応は難しいのではないだろうか、と坂本事務局長の話を伺いながら感じたのは、私一人だったでしょうか。

同災害は四月二十五日、国の激甚災害の指定を受け、当年度に殆どこの復旧が進められた。公共事業の減少によって、一昨年の会員企業受注高が七十五億円であったが、震災により百二十五億円の受注高を記録するに至った。

「機械力・人力を減らすことにより、経営を続けなければならなかった業界に、その全てを管内業者で消化することには難しい点が残りました。」そう、結んだ坂本事務局長の話のあとに、刀禰会長が立上り、こう付け加えた。

「大変な災害でしたが、当局と業界の対応がこれだけスムーズに運んだのは、石川県奥能登土木総合事務所の所長さんが、地元輪島の出身で、管内全ての地理・業者を把握されて

いました。このことが、大変大きかったと思います。」

長谷川会長が謝辞を述べ、我々は鳳輪建設業協会を後にした。

「能登はやさしや土までも」と歌われるこの地は、風光明媚で人情に厚い土地柄を称えたものですが、厳しい冬を乗り越えて生きる力が、人々には備わっていることも教えられたような気がいたしました。

表通りには震災のかけらも見られなく、復旧された街並もその裏側では震災によって受けた傷跡を癒すには、まだまだ、長い時間がかかるのではないのでしょうか。

一人ひとりの想いを乗せたバスは、夕日に輝く海を窓の下に、一泊目の宿泊地に向かった。

完



研修旅行参加者



同窓会

T・Y

今年でとうとう30歳、世間では新米から中堅になりつつある年頃ですが、我が社ではいつまでたっても「永遠の若造」であることに世の中を憂いる今日この頃です。

私は5年に一度中学校の同窓会に参加しています。20歳からなので、今年で3回目、11月開催予定です。一学年180人に声をかけ、約半数が参加するのでは？と言われています。5年前の同窓会では、結婚した人、離婚した人、東京でバンド活動をしている人、一流企業で働いている人、大病と闘っている人、人それぞれの言葉では言い表せない苦労や努力、夢を追っている姿を見ることができました。

世の中では通り魔事件、家庭内での暴力、殺人等、人が人を傷つける事件や、地球の環境破壊問題などの暗い事件が多く、朝のニュースを少し憂鬱になりながら見ていますが、暗い事件と同じ数だけ明るいニュースがあるのでは？（明るいニュース

はテレビで放送してもつまらないからな。）

「静岡県の〇〇さんが、8人目の子供を出産しました。」と、朝のどのニュースでも放送してたらおかしいもんな。と自分に言い聞かせる毎日でしたが、同級生の努力している姿を思い出し、自分を鼓舞しながらがんばってきたつもりです。

しかし、あれから5年。そんな気持ちも少し薄らいでくる5年。同級生の顔と名前が一致しなくなってくる5年。毎日を生懸命生きなければ！と思う自分と、これから何をしたいかなければ？と、考え思考しつつも惰性で日々を送ってしまう自分。このタイミングで同窓会を開く幹事は天才だな！と自分勝手に思いつつも、大変な作業に感謝しています。

同級生の新たな夢や希望、これまでの成功や失敗談に耳を傾けるとともに、少しでも今後の生活の糧になればな！と思います。

最近のキーワード

発注者別評価点

発注者別評価点とは、全国一律の基準で企業評価を行う経営事項審査（経審）に対し、各発注者が地域の実情に合わせ、独自の視点で建設業を評価する制度。

すでに都道府県レベルまでは普及していますが、市町村では依然として導入率が4割台にとどまっている。国交省では、市町村向けの導入マニュアルをまとめ、2009・10年度の格付けの検討に間に合わせたいとして、「発注者別評価点マニュアル」の素案をまとめた。

素案では、工事成績の評価を必須項目とし、工事成績は成績の平均点などから算定するが、工事成績評定を実施していない場合は都道府県のデータ活用や工事実績を評価したりすることもあるとしている。技術力については技術者数、保有資格、表彰技術者、継続能力開発制度など、安全対策では防災防への加入、COHMS・OHOSAの取得の実施状況などを評価項目として想定している。

私の安全パトロール日誌



一墜落・転落事故の防止を

主任安全指導者 防災防止指導員 乗松 敬貢

日頃、天竜建設業協会の安全活動には会員の皆様をはじめ、それぞれの関係機関の皆様にお世話になっております。天竜建設安全指導員一同感謝するしだいであります。

平成20年度全国安全週間スローガンは「トップが率先 みんなが実行 つみ取ろう職場の危険」です。会社の社長が安全意識を高め安全第一で仕事を取り組むようにお願いします。又、労働災害を減少させる為には、労働災害の発生状況を分析し、その結果に基づいた再発の要因の調

査・分析を習慣化し、危険有害要因を事前に特定することでリスクの除去または低減を図る「リスクアセスメント」が有効ですので、経営者みずからリスクアセスメントを実施するようお願いいたします。

今年度、静岡県内の6月末現在で労働災害死亡事故により10人が亡くなっており、そのうち三大災害の墜落・転落事故で7人が亡くなっております。天竜地区は急峻な地形の現場が多いので再度、事故が起らないよう安全作業をお願いします。

建設ギャラリー

工事名称 平成19年度道整備交付金事業(市)佐久間浦川半場線道路改良工事
 工事場所 浜松市天竜区佐久間町浦川地内
 発注者 浜松市
 施工業者 株式会社 道林建設
 工事概要 施工延長 132m
 軽量盛土工 497m³

浦川地内の生活道路である(市)佐久間浦川半場線の拡幅工事
 現状では幅員が狭く、大型車両通行禁止の急峻な地形に位置するため、軽量盛土工を採用
 地元では出来るだけ早い路線全体の改良が待ち望まれている。



夏休み親子現場見学会

8月25日(月)、社会資本整備の必要性や重要性を理解していただき、公共事業に対する正しい理解と認識をしていただくため、夏休み親子現場見学会を開催しました。当日は、小雨の降る中「急傾斜地崩壊対策工事現場」「富士山静岡空港建設現場」「相良油田」を親子多数の皆さんが見学しました。



浜松土木事務所天竜支局職員から、急傾斜地崩壊対策工事の必要性や方法、重機の働きなどの説明を受けました。



油田の里公園で、再現した昔の手掘り井戸小屋で説明を受ける子供たち(相良油田は、太平洋岸唯一の石油抗で良質の原油が産出されました。今でも浅いところで少しは原油を汲み上げることが出来ます。)

お宝発見

シリーズ第5回

クラシックカー

浜松市東区中郡町在住の竹下さんの愛車は、昭和39年式（1964年）、プリンスグロリアスパー16、排気量1980ccで、昭和56年に譲り受け、大切に乘っています。

竹下さんは、静岡クラシックカークラブ（会員は70名ほどいるそうです）に所属し、2ヶ月に一度静岡市内に集まり、ツーリングやイベントに参加しているそうです。



クラシックカーと呼ばれるのは、昭和45年式

（1970年）

以前の車ですが、1980年式の2シーターのベンツも所有しています。

これから古い車を大切に乘っていたきたいものです。

（Y・I）

My Family

『一之丞蘭丸』



水窪地域自治センター

高木 俊二

『高木一之丞蘭丸（いちのじょうらんまる）』我が家の大切な家族の一員です。

四年前、娘との約束で飼うことになった愛犬で通称『イチ』と言います。チワワという種類で身体は小さいのですが、よく吠えて隣近所の方にはご迷惑をお掛けしている事と思います。この場をおかりしてお詫び申し上げます。

とにかく、家の中で一番の元氣者です。

仕事で疲れたときなどは無邪気な『イチ』とじゃれて遊んでいると気持ちも晴れ、たいへん助かっています。

妻も子供たちも『イチ』に対して、これ以上ない：という素晴らしい表情で可愛がっています。

あつたかく、そして、面白い高木家は毎日毎日『イチ』を中心に動いています。



磐田信用金庫 春野支店
岡本 亜子さん

3週間の本部研修を経て私は今、磐田信用金庫春野支店で働いています。

支店に配属されたばかりの頃は戸惑いと不安の毎日で、電話一つとることにもものすごく緊張

をしていました。また、最初は自分が社会人になったのだという実感もなかなか感じられなかったのですが、日々の業務を通じて金融機関の役割の重さと共に、自分が磐田信用金庫の一員であるという自覚が少しずつ生まれてきました。今でも他の職員の方々に迷惑をかけてばかりですが、一日でも早く春野支店の戦力となり、地元に貢献できるように頑張っていきたいです。そのためにも、一つひとつの丁寧な処理を心がけ、広い視野をもって業務に取り組んでいきたいと思ひます。